

## 街頭演説原稿

日本共産党埼玉県委員会 2025年10月15日

みなさん、日本共産党です。日本共産党の訴えをおこないます。

自民と公明が連立を解消するとなってから1週間。連日、首相指名選挙にむけて、政党の組み合わせがどうなるのか、を中心にマスコミは報じています。しかし、みなさん、今年の衆院選挙、そして今年の参院選挙で出した国民の答えは、「自民党政治を変えよう、終わらせよう」というものです。この国民のみなさんの思いに沿った形で、新しい政治がつくられるべきと私たちは考えます。

そもそも、自民公明の連立政権が崩壊したのは、戦争する国づくりや消費税増税、社会保障の改悪など、数々の悪政を繰り返してきたこと、その裏で自らは裏金づくりにいそしんでいたことへの国民の大きな怒りに包囲されたからにほかなりません。自民党政治も、維新や国民民主を巻き込んだ形の自民党政治の延長も、きっぱり拒否しようではありませんか。

みなさん、いまみなさんの暮らしはいかがでしょう。終わりが見えない物価高、重すぎる教育費用、不安定な働き方、減っていく年金。どこでも「買い物に行くのが怖い」、「暮らしが苦しい」、「将来が不安」との悲鳴が寄せられています。

どうしてこんなにも生きるのが大変なのでしょう。どうして政治が暮らしを守る姿勢を打ち出さないのでしょうか。そこには、日本の政治のゆがみがあります。

自民党の政治では、アメリカに言われるまま、軍事費を大きくふやし、トランプ関税の脅し、不平等・不公平の対米投資を押し付けられています。

財界のもうけだけが優先され、非正規という働き方がつくりだされ、賃上げが抑え込まれ、そして消費税の増税や社会保障の改悪が繰り返されてきました。

この自民党政治の結果が「失われた30年」です。世界から見ても異様な経済の立ち遅れ、暮らしの苦境がつくりだされてきました。そして、この30年のなかにすっぽりと収まるのが自民公明の連立でありました。

私たち日本共産党は、一貫して、アメリカいなる政治や財界のもうけ最優先の政治をただしてこそ、この政治のゆがみに斬り込んでこそ、国民の暮らしを向上させることができると訴えてきました。自民公明の連立崩壊のいまこそ、新しい政治をつくるために、ご一緒に声を上げていこうではありませんか。

みなさん、働き方や子育て、営業、暮らしなどで「お困りごと」をお寄せください。私たち日本共産党は、みなさんから寄せられる願いを国や自治体に届け、実現するために全力をあげています。「お困りごと」をどうぞお気軽に日本共産党へご相談ください。

最後にお願ひがあります。スクープ連発で自民党の裏金を暴いてきた「しんぶん赤旗」をぜひこの機会にご覧になってください。「3週間お試し」購読もできます。また、「赤旗」の電子版も10月からスタートしました。「赤旗」をお読みいただくことをお願いしまして、私たち日本共産党の訴えとします。